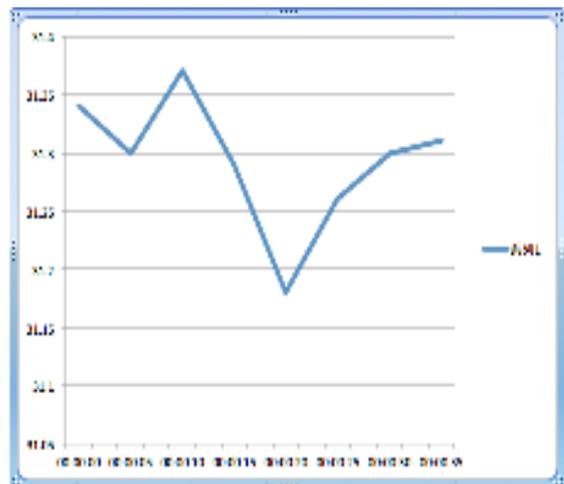


電源をつける方法が分からなかったがマイコンに USB ポートがあったので 5V の携帯用充電器を使うことで正常に動作した。

実験③センサーの動作確認

装置を組み立てた後に、ドライヤーを使って温度センサーの動作確認をした。

結果 何度か行って、プログラムのミスや接続の間違いをを見つけることができ温度の計測とグラフ化もできた



4. 大会結果

7月10日に和歌山で行われた缶サットの地方大会に出場し、桐蔭高校、海南高校、日高高校、恵那高校の4チームが出場し、上位2チームが全国大会に進めるが恵那高校の結果は3位だった。

プレゼン発表は上手に発表することができたと思うが、プレゼンの質が悪く字が多くて見づらかった。

打ち上げでは、落下時間は目標の30秒をより上回った秒数で落ち、落下時間は研究の成果がしっかり出た。

物理データは数値を出してグラフ化をすることはできたが、温度の変化はあまりなく、缶内部の温度が高すぎて正常に測定できなかった。他校のチームはいくつもセンサーを積んでいたのもそこでポイントに差をつけられてしまった。



5. 考察

パラシュートは大きいほど滞空時間は長くなるが、そのぶん風に流されてしまうためそこを工夫できると良かった。

キャリアは、時間があまりなくて取り掛かれなかったのが残念だった。

プログラミングでは、何の情報のないところからがんばることができたと思うが、他校のチームよりも工夫が少なかった。

6. 参考文献、引用文献

- ・ JAVA 言語プログラミングレッスン (上) (下) 結城浩 著 ソフトバンク・クリエイティブ
- ・ 飛ばせ！手作りロケット
- ・ 日本モデルロケット協会編
- ・ Arduino をはじめよう